

TSG TOKYO STARTUP GATEWAY STARTING DAY 2026



7月25日(土)、渋谷区にあるベルサール渋谷ファーストにて開催された東京都が主催する TOKYO STARTUP GATEWAY の「STARTING DAY」に、3年生10名、1年生3名(計13名)で参加してきました。

TSG (TOKYO STARTUP GATEWAY) とは、東京都が主催する、若者を対象としたスタートアップビジネスプランコンテストで、「世界を変える起業家」の輩出を目指し、アイデア段階から事業化までを強力にサポートする国内最大級のビジネスプランコンテストとして知られています。



7月25日(土)に開催された「STARTING DAY」は、まさにそのキックオフとも言える大型イベントであり、会場には15歳から39歳までの起業を志す若者やイノベーターなど、数百名もの熱気あふれるコンテスト参加者が一堂に集まりました。会場となったベルサール渋谷ファースト内は5つのエリアに分かれ、多角的なアプローチで学びと刺激を得られるプログラムが展開されました。第一線で活躍するスタートアップ創業者の実体験に基づくトークが展開されました。事業立ち上げのリアルな苦労や失敗談、それを乗り越えた熱い想いに、生徒たちも熱心に耳を傾けていました。アイデアソンやピッチ体験、起業家・仲間とのクロストークセッションなど、エリアごとに異なるテーマのワークショップや展示が実施されました。参加した生徒たちは、自分の関心に合わせて各エリアを積極的に巡り、熱気あふれる空間を全身で体感していました。

今回参加したのは、最高学年として自身の将来やビジョンを具体的に描き始めている3年生10名と、新しい挑戦への一歩を踏み出した1年生3名。同世代を含む数百名規模の参加者が情熱をもってアイデアを語り合う姿は、生徒たちにとって非常に大きな衝撃と刺激となったようです。生徒の感想の中で、「アイデアを出すところまでは良いが、実際に起業するところまでを想像することができ、充実した一日となった。」「様々なアイデアをもった人たちが集まり、自分のアイデアに自信をもつことができた。」などある。学校の授業だけでは得られない「社会を動かす熱量」を肌で感じ、自らの視野や志を大きく広げる姿が見られました。

異例の熱気に包まれた一日となりましたが、参加した13名の生徒にとって、自身の将来像を描き、挑戦する面白さを知る「真に貴重で実りある経験」となったことと思います。この日に得た刺激や学び、そして芽生えた探究心を今後の学校生活やそれぞれのキャリア選択にどう活かしていくのか、生徒たちの今後の成長が非常に楽しみです。

